

指定管理者実績評価表

障がい福祉課

施設名	障害福祉サービス事業所花の実園
指定管理者	社会福祉法人 習愛会
指定期間	平成28年4月1日～2021年3月31日

評価（特記事項）	総合評価
<p>就労継続支援B型においては、従来の木工、縫製、園芸等の自主製品の販売を行うとともに、新型コロナウイルス感染症拡大によりイベント等が中止となる中、給湯器の解体や食品パックのシール貼り、宅配便の伝票のゴムの取り付け、「アマビエ」の木工製品の作成など、現在の社会状況を踏まえた新たな業務を受注、作成し、事業の充実を図っている。また、生活介護においては、車いす使用者が増加する中、歩行訓練やストレッチ等の機能補足支援を実施するとともに、ちぎり絵の創作活動においては、利用者の適性や興味を引き出す取り組みを行っている。</p> <p>施設管理については、利用者及び職員が安全で快適に活動ができるよう、施設内は整理整頓され、清潔に保たれている。また、新型コロナウイルス感染症対策として、施設入口に消毒液を設置し、利用者、職員、外部訪問者の使用を徹底するとともに、マスクの使用、手洗い、マニュアルの整備等、感染防止に取り組んでいる。</p> <p>職員の人員配置については、本年4月に生活介護支援員が1名増加し、要求水準どおりとなっている。</p> <p>利用者及び家族への支援、人材育成については、保護者会の実施や連絡帳の活用に加え、利用者、家族との三者面談を実施し、情報共有を図るとともに、研修を3か月に一度実施している。また、ヒヤリハット事例を記録し、事故やトラブルの防止を図っている。</p> <p>その他の項目についても、概ね要求水準に達しており、引き続き、利用者の適性に合った支援及び積極的な事業展開に取り組むことを期待する。なお、職員の人材育成については、国の障がい者施策の法整備が進む中、より重要な視点であることから、県主催の研修を活用するなど、一層の研修体制の充実を要望する。</p>	A

区分	項目	評価観点	評価	個別の評価
保Ⅰ 市民の 平等な 利用の 確	1 施設の設置目的・「公の施設」としての基本方針の確立及び施設目的の達成度	1 施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立しており、職員が理解しているか。	A	要求水準
		2 意欲的な管理運営がなされ、それを通じて施設目的を達成できているか。	A	
	2 市民への事業広報活動等、市民の平等な利用の確保についての工夫	1 市民の平等な利用が確保されたか。どのように工夫しているか。	A	要求水準
		2 全ての利用者が等しく利用情報を得ることができるよう、適切な情報提供を行っているか。	A	
Ⅱ 財政的 能力及 び人的 能力の 保有	1 施設管理、安全対策の内容の妥当性	1 建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持が実現されているか。	A	要求水準
		2 備品が適切に管理されているか。	A	
		3 清掃業務において、利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	A	
		4 警備業務において、安全で安心感のある環境を確保しているか。	A	
		5 外構施設の保守点検において、安全性が確保され、良好な機能が保持されているか。	A	
		6 植栽・樹木等の維持管理において、利用者が快適に過ごせるような景観が保たれているか。	A	
		7 3R（リデュース・リユース・リサイクル）を実践し、ごみの減量に取り組んでいるか。	A	
		8 地球温暖化防止に係る取り組み（冷暖房温度設定・節水・節電他）を実践しているか。	A	
	2 経済的（経営・収支・資産等）に安定した運営	1 経営的（収支・資産等）に安定しているか。	A	要求水準
		2 仕様書に定められた、若しくは事業計画書のとおり開館しているか。	A	
	3 適正な職員の配置	1 管理職を含む常勤職員及び非常勤職員の勤務実績、配置状況は適切か。（仕様書の人員配置は満たされたか）	A	要求水準
	4 個人情報の保護	1 個人情報の保護に対する体制が整っているか。	A	要求水準
	5 緊急事態への対応策	1 事故防止のための体制の構築・取り組みを行っているか。	A	要求水準
		2 事故発生時の対応体制が確立されているか。	A	
		3 災害発生時の対応体制が確立しているか。	A	

区分	項目	評価観点	評価	個別の評価
Ⅲ 当該施設 能の効用 及び用を 経費の限 縮に発揮 させる	1 サービスの向上及び 利用者の増加等、施設の 効用を最大限に発揮させる 取り組み内容	1 利用しやすい受付案内を実施しているか。	A	要求水準
		2 当該施設について、広報誌やPR誌を作成するなど、具体的な取り組みを実施し、潜在的な利用者にアピールしているか。	A	
		3 利用者の満足度を高める適切な接遇がなされているか。	A	
		4 個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取り組みを行っているか。（研修計画は適切であったか。）	A	
		5 職員間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	A	
		6 利用者が意見や苦情を述べやすい環境を整備しているか。	A	
		7 利用者の意見や苦情等を受けて、迅速に対応できる体制を構築しているか。	A	
		8 サービス全体に対する利用者の満足度を把握し、課題がある場合には対応策を講じているか。	A	
		9 利用者の望む自主事業を適切に実施しているか。独自の工夫等はあるか。	A	
		10 地域との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか。	A	
2 管理運営経費の縮減	1 指定管理料は適正に執行されているか。			
	2 事業計画書等で示した利用料金収入の目標値がどの程度達成されているか。 (当初収支計画と実態の相違) また収入-収支がプラスになっているか。	B	要求水準だが 更なる取組が 期待される	
	3 効率的な管理を目指し、経費節減の努力を行っているか。	A	要求水準	
利Ⅳ 用施設 状況の	1 施設の利用実績	1 施設利用者延べ人数	A	要求水準
		2 施設利用者一日平均人数	A	
Ⅴ その他	1 市民（利用者）から寄せられた 具体的な意見	1 寄せられた苦情の具体的事例及び対応	A	要求水準
		2 特に多く寄せられた賞賛意見	A	
Ⅵ 個別 事項	1 提案事項	1 利用者の拡大及び市民利用の考え方について	A	要求水準
		2 給食の提供について	B	要求水準だが 更なる取組が 期待される
		3 健康管理・検診等医務に関することについて	A	要求水準
		4 衛生管理について	A	
		5 保護者及び保護者会との連携について	A	
		6 地域振興について	A	
		7 送迎について	A	
		8 ボランティア及び実習生の受入について	A	
		9 その他特に提案したいこと 作業開発（製造販売）について	B	要求水準だが 更なる取組が 期待される
		9 その他特に提案したいこと 地域交流（喫茶室営業）について	A	要求水準
9 その他特に提案したいこと 日中一時支援事業について	A			
9 その他特に提案したいこと 業務マニュアルについて	A			

評価段階：A+～C

要求水準とは、協定書・仕様書及び事業計画書において求める運営管理の水準

A+（要求水準を上回る）の数	0
A（要求水準と同等）の数	44
B（要求水準だが更なる取組が期待される）の数	3
C（要求水準に至らない）の数	0